

# ☆くしろ 市議会だより

発行 釧路市議会  
編集 議会広報特別委員会  
釧路市黒金町7丁目5番地(議会議務局)  
TEL 31-4581 FAX 23-7679  
✉ メールアドレス  
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp  
URL ホームページアドレス  
http://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html  
f フェイスブックページアドレス  
http://www.facebook.com/kushiroshigikai

(次回の2月定例会は、  
2月26日(金)午前10時から開会の予定です。)

ぜひ、傍聴に  
お越しください!

## 議会日程

10/6、10/15、11/13、  
12/24、1/14、1/15

議会広報特別委員会

11/25

議会運営委員会

11/30

都心部市街地整備特別委員会

12/1

石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会

## 12月定例会(会期11日間)

12/2

市政報告  
提案説明  
質疑・一般質問

12/3・4

質疑・一般質問

12/7~12/10

常任委員会審査

12/10

議会広報特別委員会

12/11

議会広報特別委員会  
採決  
委員長報告

12/12

本会議採決

## 12月定例会の概要

12月2日から始まった12月定例会は、会期を1日延長し、12月12日に閉会しました。

2日から4日までの本会議では、16人の議員が登壇し、市政全般にわたる分野で議論を行い、8人の議員からは、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について質問がありました。

7日から10日までは3常任委員会に分かれ、審査を行いました。

11日は、午後10時から本会議を再開し、翌12日にかけて、27年度一般会計補正予算など16議案と報告1件、意見書案8件を原案どおり可決・承認しました。

また、市議会だよりに掲載する質問項目の扱いに係る議長と議会広報特別委員長の一連の対応に関連し、日本共産党議員団から議長と委員長に対する不信任決議案が提出され、討論の後、これを否決しました。

なお、当該質問項目の掲載については、閉会中に代表者会議、議会広報特別委員会と協議し、当初、不掲載となりましたが、最終的に掲載することになりました。

その他、12月定例会に先立ち、3常任委員会では総合戦略の素案を審査

## 議会報告会を開催

27年度の議会報告会「市民と議会のつどい」を、10月26日から30日まで、市内6会場で7回開催しました。この取り組みは、市民の皆さんに議会を身近に感じてもらうため、23年度から実施しています。

参加された方からは、まちづくりや地域の課題などに関し、たくさんの質問や意見が寄せられました。こうした機会を通して、議会の広報広聴機能を高めていきたいと考えています。なお、意見や要望等をまとめた報告書は、市議会ホームページでご覧いただけます。



## 3常任委員会が行政視察を実施 ～先進事例などを調査～

総務文教・経済建設・民生福祉の各常任委員会所属議員は、所管する事務に関する審査等の参考とするため、各地の優れた先進的な取り組みなどを調査しました。

### 民生福祉常任委員会

11月3日から6日までの4日間の日程で視察しました。砂川市では、市立病院の建て替えと病院機能を、三重県桑名市では、地域包括ケアシステムと介護予防・日常生活支援総合事業の取り組みを、静岡県浜松市では、類似放課後児童クラブ助成事業と子育て支援サイトの運営を調査しました。

【参加議員】梅津則行 岡田 遼 三木 均  
高橋一彦 大澤恵介 工藤正志 秋田慎一  
畑中優周 佐藤勝秋



### 経済建設常任委員会

11月9日から12日までの4日間の日程で視察しました。愛知県名古屋市では、名古屋港管理組合のクルーズ船受け入れの取り組みを、中部運輸局では中部北陸9県が連携し観光プロモーションを行う昇龍道プロジェクトを、兵庫県神戸市では、外国人観光客へのおもてなしの取り組み等を調査しました。

【参加議員】宮田 団 伊東尚悟 戸田 悟  
河合初恵 森 豊 松橋尚文 松永征明  
松永俊雄 酒巻勝美



### 総務文教常任委員会

11月9日から12日までの4日間の日程で視察しました。愛知県名古屋市では、震災対策の実施計画を、岐阜県各務原市では、子どもたちを地域と連携し育てていく寺子屋事業の取り組みを、富山県富山市では、公共交通の活性化による拠点集中型のコンパクトなまちづくりの取り組みを調査しました。

【参加議員】山口光信 村上和繁 続木敏博  
草島守之 大越拓也 金安潤子 月田光明  
鶴間秀典 渡辺慶藏 (松尾和仁議員は都合のため不参加)



## 党派略称説明

自民ク 自民クラブ  
市政進 市政進クラブ

市民連合 市民連合議員団  
公 明 公明党議員団

共産党 日本共産党議員団  
新創ク 新創クラブ

12月2日(水)～12月4日(金) 今定例会では、16人の議員が登場しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

12月2日(水)



伊東 尚悟 議員

「冬季オリンピック競技誘致に向け札幌市と連携を」

札幌市が招致を表明している2026年冬季オリンピックに関し、市は一度も同市と接触していないようだが、競技を誘致することで、観光等さまざまな面での可能性が開ける。連携を模索してはどうか。

オリンピック競技を開催する会場施設には建築面積や観客席数で一定の基準があるが、市の水上競技施設はこの基準に適合しておらず、誘致は難しい。市がどのような形で参画できるか、札幌市の動向を注視しながら検討していきたい。



河合 初恵 議員

「楽しみながら健康づくりに取り組める仕組みづくりを」

他都市で実施している健康推進奨励金やポイント制度など、楽しみながら健康づくりに取り組める施策を導入し、市民の健康増進だけでなく、医療費の削減や財政健全化につなげていくべきと考えるがどうか。

市民が自主的に健康づくりに取り組むことは、健康寿命の延伸に向け大変重要なことである。健康づくりの動機づけに向けた取り組みは、全国各地でさまざまな実施されているが、「健康づくりを楽しむ」という視点から、他都市の事例も参考に研究していきたい。



大澤 恵介 議員

「ふるさと納税返礼品対象額の引き下げを」

ふるさと納税返礼品の対象となる寄附額は市では5万円だが、近隣自治体と同レベルの1万円程度に下げ、増収を図ってはどうか。その増収分を子ども子育て施策に充てるべきでないか。

総務省からの通知により、返礼品については寄附金控除の趣旨を踏まえた対応が求められている。このため、市では寄附額の増を最優先とした方針は取っておらず、現時点で対象額の引き下げは検討していない。寄附の用途については、総合戦略を進めていく中で検討していきたい。



工藤 正志 議員

「保育料増額世帯に対する負担軽減を」

子ども子育て新制度の導入に伴い、27年4月から185人の児童の保育料が上がり、全体で約685万円の負担増になった。市として増額分を予算措置し、保護者の負担軽減を図るべきと考える。見解を聞きたい。

今回の保育料算定方法の変更は、国の制度設計に問題があり、是正の働きかけが必要と考えている。市として、前年度からの継続入所児童がいる多子世帯で負担増となった世帯については、27年4月に遡及し、旧制度の保育料額を適用させる方向で検討していく。



岡田 遼 議員

「期日前投票所の増設を」

選挙権年齢が18歳以上に引き上げられることを見据え、投票率向上に向けた新たな取り組みが必要である。期日前投票所の利便性向上策として、親子が同伴して訪れる商業施設や大学などへの投票所の増設を検討できないか。

有権者の利便性につながる投票環境の整備を行うことは、投票弱者対策にも有効であり、投票率の下支えに寄与するものと考えている。選挙管理委員会としては、地域バランスを考慮して増設したコア3館のさらなる活用について、周知に努めていきたい。

用語解説

- ※1 子ども子育て新制度  
平成24年8月に成立した子ども・子育て関連3法に基づき、市町村が実施主体となって、子育てする家庭の支援、認定こども園の普及、待機児童の解消、地域の実情に応じた子育て支援などを推進する制度。
- ※2 マイナンバー通知カード  
住民の方々にマイナンバーを通知するもので、平成27年10月中旬以降、住民票を有する全ての住民へ郵送されている。28年1月から、社会保障・税・災害対策における各種手続きにおいて、本人確認とともに、個人番号の記載・確認を求められることになり、また個人番号カードの交付を受ける際には返納することになっている。

12月3日(木)



大越 拓也 議員

「高齢者バス等利用助成制度の見直しを」

中心市街地活性化や健康増進に伴う医療費削減、対象者の選別に要する住民税課税状況の確認作業などの事務費削減の観点から、費用対効果も考慮し、まちづくりと公共交通が一体になるよう「高齢者バス等利用助成制度」を見直すべきでないか。

同制度は、さまざまな意見を踏まえ、第6期計画期間内で制度のあり方を検討することになっている。地域住民の足である公共交通と社会参加の両立を果たす施策として視点を持ち、見直しを検討していきたい。



三木 均 議員

「TPP合意による市の影響を試算すべし」

TPP大筋合意は、釧路の農林水産業に中長期的には大きな影響を与えると考えられる。国や道の試算と併せて、公立大学などの協力を得て市独自の試算も行い実情に合わせたきめ細かい対応を考え、実行すべきでないか。

市への影響については、国や道による試算がされていないので、国や道に対し品目ごとの影響度合いを分かりやすく示すよう求めていく。また、打ち出される施策を活用し、地域の活力向上に結び付けていきたい。



松橋 尚文 議員

「阿寒町本町地区の保育施設設置時期は」

「子ども・子育て支援事業計画」では、阿寒町本町地区における乳幼児保育施設を29年度中に法人立運営も視野に入れて確保する計画になっている。具体的にいつまでの設置を目指すのか。示してほしい。

地域のニーズに対応すべく仕事と子育ての両立ができる環境整備に向けて、施設などハード面の整備や、運営形態等について関係機関と協議を進めていきたい。29年10月までに同地区の待機児童を解消できるように、28年度中に一定の方向性を示したい。



鶴岡 秀典 議員

「トーカーリップ体操の全市民的普及を」

「マリモでくしろを盛りあげ隊」は、介護予防や健康増進に役立つようにと理学療法士や作業療法士が中心となり、約一年かけてトーカーリップ体操を考案した。これを楽しく運動できると、当該地の健康体操として、釧路全域で広められないか。

トーカーリップ体操は、地元有志による地元資源を活用した取り組みである。こうした会の皆様による熱意も充分踏まえながら、健康づくりを進める市民団体への周知など、全市民的普及に対する支援に今後とも努めたい。



村上 和繁 議員

「IR可能性調査は中止すべき」

補正予算のIR可能性調査費に関して、27年度に調査を実施し、28年度に公表するとしているが、道も同様の調査を行っている。大きな違いはなく、阿寒湖温泉地区でのIRの実現可能性も低いため、調査を中止すべきでないか。

北海道のIR候補地のうち、苫小牧市が27年3月に可能性調査を実施したこと、道から年度末までに調査実施の要請があり、11月には民間団体からの要請もあった。市としても、阿寒の文化や自然を踏まえた釧路型IRの概要をまとめる必要があると考えている。



宮田 団 議員

「保育料の値上げによる負担軽減を」

4月からの保育料値上げは、国の基準とはいえず、子育て支援の充実に逆行している。道内主要都市と同様に、子育てしやすい安心できるまちづくりのため、保育料を軽減すべきでないか。

市としても、少子化対策や多子世帯への支援が求められる中、一定の改善策が必要と判断している。特に、昨年度からの継続入所児童のいる多子世帯において、負担増となっている世帯については、4月にさかのぼり、旧制度を準用した保育料額を適用させる方向で検討したい。

# 委員会審査

今定例会では、3常任委員会と2特別委員会の審査を行いました。その中から、主な審査内容をお知らせします。

3常任委・2特別委

**総務文教常任委員会**  
山口 光信 委員長

**日本銀行旧釧路支店**  
「保存に向けた取得について議論」

「日本銀行旧釧路支店の建物等の保存に向けた検討が行われているが、建物などの取得後の具体的な利活用等の方向性が示されていない。市民に対しての説明責任があり、将来展望などを示しコンセンサスを得ていくべきでないか。」との質問がありました。

理事者は、「同支店の建物は、公共施設として不特定多数の方が常時出入りするような利活用の方法は困難であるが、簡易な見学対応や外観を生かした維持管理のあり方については、しっかりと検討したい。拙速という批判を受けることがないように、説明責任を果たしていきたい。」と答えました。

**経済建設常任委員会**  
宮田 団委員長

**市発注工事におけるくい工事**  
「市の監督員が立ち会い安全性を検証」

「市発注工事に関し、旭化成建材のくい工事に係るデータ流用があったこと、該当する市営住宅の入居者は不安に感じている。安全・安心のためにも建物を点検するなど、安全性についてしっかりと説明すべきでないか。」との質問がありました。

理事者は、「市発注工事におけるくいの施工に当たっては、市の監督員が必ず立ち会い、直接目視により全てのくいについて電流値等で支持地盤到達を確認しているため、建物の安全性は検証されている。入居者に対しては建物の安全性について説明会を行っており、個別の問い合わせについては今後もしっかりと対応していきたい。」と答えました。

**民生福祉常任委員会**  
梅津 則行委員長

**マイナンバー通知カード**  
「受け取り拒否への対応は」

「27年11月よりマイナンバー通知カードの配達を開始したが、11月25日現在で受け取りを拒否した件数が64件あった。受け取らなかった市民への対応はどのように考えているのか。」との質問がありました。

理事者は、「通知カードはマイナンバーを通知するもので、11月2日より配達を開始したが、その受け取りは本人の意思によるものであり、強制するものではない。今後、受け取りを拒否した市民に連絡するなどの対応は特に予定していないが、マイナンバーが必要になった場合には、通知カードを交付するために必要な手続きを伝えるなど、適切に対応したい。」と答えました。

**石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会**  
続木 敏博 委員長

**火力発電所の建設**  
「住民理解のための説明を」

「釧路火力発電所の建設に当たっては、建設地周辺住民への周知が重要であり、説明会の開催だけではなく、事業者と連携して、より丁寧に説明を行い、住民の理解を得ていくことが必要でないか。」との質問がありました。

理事者は、「周辺住民が理解を深めることは大変重要であり、今後、事業者とも相談しながら、どういった形で行えるか、さまざまな手法を検討し、多くの方々に石炭産業の重要性や火力発電所の意義を丁寧に説明していきたい。」と答えました。

**都心部市街地整備特別委員会**  
渡辺 慶藏 委員長

**北大通地区優良建築物等整備事業**  
「地域住民等に配慮して進めるべき」

「北大通3・4丁目地区の優良建築物等整備事業に係るスケジュールを示してほしい。また、既存施設の解体工事の際には、騒音や粉じん等の対策を行い、地域住民や商業施設などに影響がないよう進めるべきと考えるが見解を聞きたい。」との質問がありました。

理事者は、「同事業は27年度に補償調査や実施設計等を、28年度に解体工事を行い、その後30年6月までの予定で新築工事を実施する。事業者が実施する解体工事に当たっては、安全面や環境面に配慮するため、庁内関係部署と対応を協議するほか、周辺の関係団体にも事前に周知したい。」と答えました。

# 本会議

質疑・一般質問

12月4日(金)

**新創ク** 森 豊 議員

**アイヌ政策推進室を設置しては**

**問** 20年に衆参両院では「アイヌ民族を先住民族とすること」を求める決議が採択され、以後、内閣官房にアイヌ総合政策室が、道環境生活部にアイヌ政策推進室が設置された。市でもアイヌ政策担当を作り、文化伝統の継承などを推進することを求めたい。

**答** 現在、生活・福祉の分野、伝統・文化振興の分野、観光振興の分野など、複数の部署が対応している。一部署を進めることは、業務効率や専門性から適当でないが、総合的な調整機能となる体制のあり方については検討したい。

**自民ク** 戸田 悟 議員

**市職員の給与に係る独自削減終了を**

**問** 財政健全化を図るため市職員の給与削減など集中的に取り組んできているが、釧路の経済効果を考えると健全であったか危惧している。職員が1日1000円緊縮したと仮定すると、5年間で約43億円強が市の経済に影響を与えたと見える。28年度においては職員給与を元に戻すべきでないか。

**答** 集中取組期間5年間の総人件費抑制の効果額は約34億円となり、所期の目的を達成した。職員費歳出規模は、今後27年度を上回らないことから、給与削減は条例で定めた28年3月31日で終了する。

**共産ク** 梅津 則行 議員

**アへ政治を許さないクリアファイルに関する調査への見解を**

**問** 流行語大賞に選ばれた「アへ政治を許さない」と記載されたクリアファイルを職員室の机の上に置いたのは誰かという調査が学校で行われた。いつ、どこで、誰が使っていたかを記入する内容でアンケート調査が行われたが、適切なものといえるのか。

**答** 道立高等学校内で同ファイルに関する情報が道教委に寄せられたことから、配布の現状等を把握するため、道教委が教職員に実施した調査である。市教委として適切か否かについては、コメントするべきものではないと考えている。

**自民ク** 草島 守之 議員

**戦争遺跡の保存と利活用を**

**問** 音別町尺別の戦争遺跡4カ所を現地視察してきたが、この施設が存在と歴史的背景などの把握や認識はあったのか。また、市として施設の保存と利活用についてどう考えているのか。

**答** 同遺跡は、太平洋戦争末期に電波計画陣地(レーダー基地)として構築された施設で、音別町史にも構築の経緯などが掲載されている。保存や利活用については、平和の大切さなど不戦への誓いを再認識するための一つの手段として有効だが、民有地に点在していることなどから難しいものと考えている。

**共産ク** 松永 俊雄 議員

**後援会からの借入金について市長は説明責任を**

**問** 市長は後援会から、25年度に500万円、26年度に850万円の計1350万円を借り入れている。その用途を明らかにしてほしい。また、資産公開で借入金ゼロとなっているのは事実ではないか。

**答** 説明責任は政治資金規正法に基づき、後援会が報告書に貸付金の貸付先と貸付残高を記載し、道選挙管理委員会に提出していること果たされているものと認識している。借り入れを忘れていたことはお詫びをし、資産公開は訂正する。

## 市議会インターネット中継を

ご利用ください!

市議会ホームページでは、本会議の様態をインターネット中継しています。27年6月定例会からの本会議の様子は録画中継でご覧いただけます。



総務文教常任委員会  
意見交換会

総務文教常任委員会では、11月6日に市まち・ひと・しごと創生支援会議の皆様と「総合戦略の策定」に係る意見交換会を実施しました。同支援会議の皆様からは、釧路の魅力や子育ての環境、産業、潜在的な可能性、重点戦略などに関し、さまざまな視点から貴重な意見が寄せられました。



経済建設常任委員会  
意見交換会

経済建設常任委員会では、11月6日にNPO法人阿寒観光協会と「阿寒湖温泉の観光振興」について意見交換会を実施しました。外国人観光客へのおもてなしの充実や、阿寒湖温泉を国際的な観光地として環境整備する「阿寒・フォレスト・ガーデン整備構想」の取り組み等について意見を交わした後、現地を視察しました。



釧路大生と  
駅前の活性化を議論

開かれた議会を目指すため、議会広報事業の一環として、11月16日に釧路公立大学において、同大学生と「くしろ駅前の活性化」がテーマに少人数のグループに分かれて一緒に考えました。この中で、釧路駅前の再開発に関する議会議論も紹介され、少し違う議会報告ができました。金安委員長は、「まちづくりのキーワードは人だと感じた。貴重な意見を聞いて有意義だった。」と感想を述べています。



森林を見る会に参加

11月16日、釧路地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会主催の第15回「森林を見る会」が弟子屈町で開催され、当市から13人の議員が参加しました。DOの森や羽田里山公園、弟子屈町地域交流ホールを視察し、摩周観光文化センターにおいて意見交換会を行いました。



平成27年第6回12月定例会審議結果

◎ 全会一致で決（認定・同意）となったもの（20件）

市長提出議案		議員提出議案	
予 算	平成27年度動物園事業特別会計補正予算	条 例	市立学校設置条例の一部を改正する条例
	平成27年度病院事業会計補正予算		阿寒湖畔スポーツ広場条例の一部を改正する条例
	平成27年度水道事業会計補正予算		阿寒町総合運動公園条例の一部を改正する条例
	平成27年度港湾整備事業会計補正予算		音別町社会体育施設条例の一部を改正する条例
条 例	市議会議員その他非常勤職員等の公務災害補償等条例の一部を改正する条例	そ の 他	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
	家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	専決処分	市道路線の認定の件 専決処分報告の件(平成27年度一般会計補正予算)
議員提出議案		議 案	
意 見 書	「患者申出療養」の適切な運用を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか2大臣)		
	子ども医療費助成の制度化を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣)		
	私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣)		
	北方領土問題の早期解決等を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか2大臣)		
	ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか2大臣)		
	地方大学の機能強化を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか3大臣)		
公立夜間中学校の整備と拡充を求める意見書(提出先:内閣総理大臣、文部科学大臣)			

◎ 賛否が分かれたもの（7件）

○賛成 ×反対

市長提出議案		議 案							審議結果
件 名	会派名[( )内は議員数]※	自民ク(7)	市民連合(6)	共産党(4)	市政進(4)	公 明(3)	新創ク(3)		
予 算	平成27年度一般会計補正予算	○	○	×	○	○	○	可 決	
条 例	市税条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	可 決	
	大規模運動公園体育施設条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	可 決	
そ の 他	コミュニティセンターの指定管理者の指定の件	○	○	×	○	○	○	可 決	
議員提出議案		議 案							審議結果
件 名	会派名[( )内は議員数]※	自民ク(7)	市民連合(6)	共産党(4)	市政進(4)	公 明(3)	新創ク(3)		
意 見 書	国による大学運営費交付金の削減に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか2大臣)	×	○	○	×	○	○	可 決	
決 議	議会広報特別委員会委員長不信任決議	自民ク(7)	市民連合(6)	共産党(4)	市政進(3)■	公 明(3)	新創ク(3)	否 決	
	議長不信任決議	自民ク(7)	市民連合(6)	共産党(4)	市政進(4)	公 明(3)	新創ク(2)▲	否 決	

※ 公 明の議員数は4人ですが、月田議長が採決に加わっていないため3人としています。  
 ■ 市政進の議員数は4人ですが、金安議員が採決に加わっていないため3人としています。  
 ▲ 新創クの議員数は3人ですが、畑中副議長が議事進行により採決に加わっていないため2人としています。